

# 高滝を楽しもう！

## なぞときFUNロゲイニング in 高滝湖

皆様こんにちは。田淵のカーフェイ員兼、自転車乗りの白石です。

9月の末と10月の頭に、高滝湖周辺でイベントをさせていただきます。今回はその一報です。

9月22日には市原湖畔美術館の屋外広場に、一山とスパイス市というマルシェイベントを実施しました。約1ヶ月の調整期間のためあまり周知ができなかったのですが、市内のお店や市内各地のお店や市内各地のお店集まり、人とカルチャーの集う素敵な空間を作ることができました。

このようにイベント



恒例の全員での記念ショット

高滝湖畔の景色とともに、各地にフオトスポットとして特典設定。チームごとに作戦を立てて歩き回りま

参加者は市原市北部の方、高滝が地元の方、市街の

# 加茂里山通信

### 令和4年 秋号

発行 市原商工会議所  
加茂里山通信編集部 征矢貫造  
編集長

10月1日には「なぞとき」ロゲイニング in 高滝湖」というウォークラリーのようなイベントを実施しました。

ロゲイニングイベントは6月には養老渓谷で実施し、その2回目として地域を変えて実施したものです。今回も市原市観光協会・DMOの支援のもと、共催の方と多くの方に参加いただきました。

市内の方でも、いつもは車で移動しているため、歩いてみると新しい発見があったと、いつもと違う景色を楽しんでいた方が多かったです。

星野農園さんでの火起こし体験や、マルヤツ工房さんの蜜蝋ラップ作りなど、体験コンテンツは地元の方と触れ合えるとても好評でした。

さらに地元の方との交流の工夫や、地域を巻き込む工夫など、次なるイベントに向けて地域を巻き込んでいきたいと思



ルール説明がありました

星野農園さんでの火起こし体験や、マルヤツ工房さんの蜜蝋ラップ作りなど、体験コンテンツは地元の方と触れ合えるとても好評でした。

さらに地元の方との交流の工夫や、地域を巻き込む工夫など、次なるイベントに向けて地域を巻き込んでいきたいと思



蜜蝋ラップ作り 講師は外部田の杉田さん

9月の終わりを迎えてもまだ気温は高く、今年の夏の暑さの名残かと思われすが、ススキの穂が垂れ、秋桜や芙蓉が咲き、キンモクセイの香りが漂ってきま

このころ、台風による被害もなく、収穫の秋を迎えています。

例年秋はいろいろな行事があったのですが、今年もコロナの影響により、加茂地区の体育祭、敬老会、高滝神社の例大祭での神輿の渡御等は中止の判断がされました。夏の市民祭りの盆踊りも含めて3年連続の中止となりました。

そんな中でも例年行われている菜の花プロジェクトのための草刈りは実施されました。夏号でもお伝えしましたが、能田の草刈りの2回目が実施されました。朝の挨拶の時は50人ほどでしたが、そこに現れずすに活動していた人たちがいて、合わせると前回6月の時とほぼ同じくらいの人数の参加がありました。この日は抜けるような青空の下、空気が乾燥していて気持ちよく作業ができました。能田の草刈りが完了する



外作業をしていると、日がだんだん短くなっていくのがよくわかります。同じ作業の草刈りなどでも汗だくだった夏から汗はむくむくへと変わってききました。草刈りに追われるのももう少しです。柿の葉が色づいてきました。朝晩の冷え込みもありま

すべてが静かに少しずつ移行して、里山の秋は深まっ



今年の中秋の名月

こでも草刈りを行いました。お昼はいつものカレーが駅近くの白鳥公民館で配られ、その場で食べる人もいれば持ち帰る人もいてそれぞれでした。（今回からカレーの容器が持ち帰れるように蓋がついて、カレーと御飯が分離したのになっていました。）

2週間後には小湊鉄道沿線一帯に菜の花の種まきの予定でしたが、台風が来るということで中止となり、さらにその1週間後に各地区で独自に種まきとなりましたが、こにもカレーが届きました。

秋が深まるにつれて気になるのは紅葉の状況ですが、3年前の台風の影響で不通となっていた大福山から梅が瀬と至る山道が通れるようになり、期待されます。いい紅葉が見れるのは夏の暑さと急激な冷え込みが必要



NONO秋の山生活

# 加茂学園は今

市総合体育大会各競技に出場  
市原市総合体育大会が行われ、加茂学園からは陸上、サッカー、野球、ソフトテニス、バスケ、ソフトボール、水泳、卓球の各競技に出場しました。

生徒たちは、これまで練習してきた成果を発揮し、猛暑にも負けぬ熱戦を繰り広げました。過去2年間、コロナ禍により大会の中止や無観客開催等の制限を余儀なくされていましたが、感染症対策を徹底しながら3年ぶりに有観客で開催されました。

9年生にとっては、加茂学園の生徒として出場する最後の大会でした。今後は来春の卒業に向けた進路選択が控えています。これまで競技を通して磨いてきた集中力を遺憾なく発揮して、自己実現を果たすと確信しています。また、後輩たちも、ひたむきに努力してきた先輩たちの背中から、多くのことを学びました。チーム加茂のさらなる飛躍が楽しみです。



総体選手壮行会の様子

校外学習でゴルフ場へ  
9月2日（金）に校外学習でGOLF5カントリーオークヒルズを訪れました。1～9年生の生徒たちは縦割りグループに分かれて、手入の行き届いたゴルフ場を巡りながら、施設見学やゴルフ体験等を行いました。また、レディースーナメントに出場する女子

子プロゴルファー選手たちがプレーする姿を間近で観戦することができました。学区内に複数のゴルフ場があり、ゴルフ大会に参加する在校生もいる

等、ゴルフの話題に触れることの多い加茂っ子も、普段の学校生活では体験できない貴重な時間を過ごし、忘れられない1日となりました。

チバニアン特別授業  
9月22日（木）に、講師をお招きして6年生を対象としたチバニアン特別授業が行われました。まず教室で地層や地磁気についての解説を受けた後、田淵にある現地を実際に訪れ、ゴールデンスパイクの設置されたGSSP（国際境界線式層断面とポイント）を見学しました。生徒たちは、自分たちの住む学区内、世界の研究者から注目を集め、学術的に意義のある地層があることを再認識し、理解を深めました。

市原商工会議所ニュース  
商工会議所の経営指導員として、支援先事業所に訪問させていただいていると、その事務所の中の「空気感」を肌で感じる事があります。和気あいあいとした雰囲気からピリッとした雰囲気、重めの雰囲気等々。文章で表すのは難しいのですが、やっぱり訪問先の雰囲気を感じて肌で感ずる。

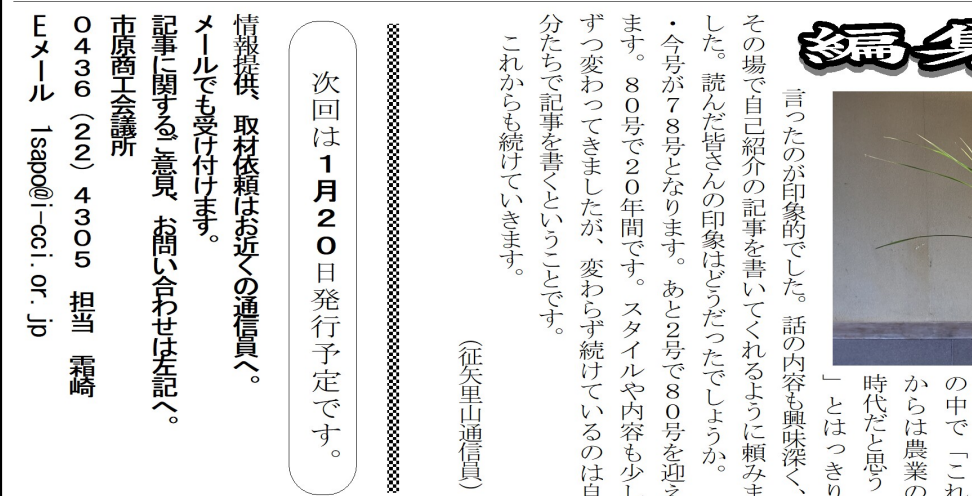
以前訪問した事業所の話ですが、空気感はとても暖かく、従業員さんにも、こやかな表情です。代表の方との打ち合わせが終了し、チャットした雑談になった時の事です。私がコロナに罹患した事を伝えると、訪問先事業所の従業員の方もコロナに罹患したとの事。従業員の方は症状が重めで、辛い療養期間を過ごされたとの事でした。

この様な「いい会社」を1社でも多く知りたい、また増える様なお手伝いをしたいと思



ゴールデンスパイクの見学

次回1月20日発行予定です。  
情報提供 取材依頼は坂坂の通信員へ。  
メールでも受け付けます。  
記事に関する意見、お問い合わせは左記へ。  
市原商工会議所  
0436(22)4305 担当 霜崎  
Eメール Tsapou@icci.or.jp



編集後記  
言ったのが印象的でした。話の内容も興味深く、その場で自己紹介の記事を書いてくれるように頼みま

・この秋号では加茂地区で農業をすることに決めた星野さんと移り住んできた沢田さん2人の紹介をする事ができました。人口の減少と高齢化率の高い加茂地区に人が入って来てくれることは大歓迎です。どんな人でもどんな考えを持っているのか、できるだけ紹介していきたいと思

ます。星野さんはある合

で自分の農業体験を語りま

した。その話の中で「これからは農業の時代だと思

う」とはつきり

「これからは農業の時代だと思

う」とはつきり

皆様と共に歩む観光  
ワカサギ釣りのシーズン到来！  
高滝湖観光企業組合  
TEL 0436-98-1277



ふるさと納税の森  
ふるさと納税の森

ふるさと納税の森  
ふるさと納税の森

ふるさと納税の森  
ふるさと納税の森

房総・養老深谷の地酒お土産は 養老深谷駅前 角屋商店 養老深谷観光協会窓口  
市原市朝生原181  
TEL0436-96-1108  
FAX0436-96-0052

愛車のある幸せな暮らしを応援します！  
安全・安心  
有限会社 全日本ロータスクラブ加盟店  
小茶自動車  
市原市石神227  
TEL0436-96-0482  
FAX0436-96-1293

# 星野真実さん

## 『百日紅の思い出』

百日紅と書いて「サルズベリ」と読みます。夏から秋にかけて白やピンクの花を付け、庭木としても人気があります。その名の通り幹が真っ赤です。

我が家にも開のすぐ前に百日紅が一本ありますが、木っ子がまだ3才になる前にサルズベリの木に登り、1メートル位の高さから庭石の上に落ち



酸、リノール酸には血液サラサラ&皮膚のハリ強化、ナイアシンは二日酔いの原因となるアセトアルデヒドを分解、肝臓への負担を軽減し二日酔いの予防効果があります。落花生の薄皮に含まれるポリフェノールには生活習慣を予防する効果、また全身の血管を強くしなやかにする働きがあります。とは言え食べすぎには用心、1日約20粒が適量です。この時期しか味わえない落花生の塩ゆで、ピーナッツ味噌など季節の味を楽しんでみてはどうでしょうか。

（大曾根R里山通信員）

# 星野真実さん 残りの人生を市原市に捧げる 決めて4年目の男の話

私は生まれも育ちも市原市の星野真人（ほしの まひろ）46歳です。地元の高校を卒業後東京の大学へ行き、希望の自動車メーカーに就職しました。就職して3年ほどして、社内で倒産か外資に買われるなどの噂が広がるほど株価が下がり、仕事にあまり身が入らなくなりました。



自分の人生が会社に左右される事は嫌だと思い、脱サラしてオートバイリサイクル事業を独立しました。オートバイリサイクル事業は神奈川県で2年、市原市（牛久）で13年やりました。オートバイは斜陽産業で、だんだん売りが下がりが自分も40歳になってしま



渡辺さんと出会い、初めて農業に触れ、加茂地区の現状を知りました。日本中どこでもですが、高齢化、後継者不足、耕作放棄地の問題が特に市内でも加茂地区がダントツに深刻化していました。これらの問題に立ち向かいながら生業を成立させることは、自分の命を燃やす価値があると確信しました。2018年は渡辺さんにくっついて農地の保全活動に参加。田植え、稲刈り教室の手伝いなどを経験させていただき、農業振興課に相談し、2019年に就農開始しました。営農するための農地も渡辺さんにすべて手配して頂き、主に大和田地区に良農地を借りることができ、ブルーベリー畑を開墾して作る事ができました。

考えました。しかし、主にインターネットで商売をしていたので、牛久に店があっても地元の方たちとの交流はほとんどなく、やがて転職しようか悩ましました。一人だけ私に希望を与えてくれそうな人がいました。それはオートバイの仕事でお知り合いになった高滝の武正さんです。さすが知事も豊富、顔も広く、私の思いに対して的確な人を紹介してくれました。その紹介してくれた人物こそ私の人生の大きなターニングポイントになった高滝の渡辺進氏（現加茂土改改良区理事長）です。

高滝に来て一番意識したことは、地域の方々とのコミュニケーションを積極的に行うことです。若い人ほど飲み会を避ける傾向が強くなっていると聞きますが、私は普段晩酌はしないのですが、農家の方は特にお酒が好きなので声をかけて、いた、たらなるべく断らず交流を広げ、深める事を意識しました。あと、市原市に根差して商売をするならも市原市の事を知ろうと思ひ、生涯学習課の市原市民大学にも通いました。そこでの勉強が私の農家としてオンラインワゴンになる道の基礎となりました。私の農家に対するコンセプトは「土を耕し、地域を耕す農家」です。農家として土を耕すのは当たり前ですが、地域の活性化活動もやり続けます。メジャーではなくても地域の良さを再発見、掘り下げ、磨き続けることで魅力的になると確信しています。そして、魅力的な所に人が集まると。

星野農園が目指しているのは、地域でオンラインワゴンの営農の仕組み作りを行い、人が集まり、次世代も巻き込み受け継がれていく農業です。この理念のもと、星野農園が将来に向けて行っていることは、  
1、個から全（集団）組織の農業への仕組み作り（効率化、雇用受け入れ態勢整備）  
拠点づくり、2021年4月、  
2、市原市南西部と北部の交流（偏った考えをなす）市原市まちづくり協議会に参加、2020年、2021年  
3、五井駅前シネキャッチン事業計画開始、2022年9月、  
4、五井駅前シネキャッチン事業計画開始、2022年9月、  
5、市原市全体の社会活動家たちと積極的に交流

3、子供食堂への関わり（農家としての使命感）食料供給、支援、2021年3月、（JA市原市を巻き込んだ）  
4、自分の周りの環境を最大限に生かした独自の営農の仕組みづくり  
観光農園、カフェ、パーキング場の開設、2022年5月、  
サイクリング事業準備中、2022年10月、地域起し協力隊、株式会社シエルバとの協業

5、どうさんの堆肥で農業に挑戦（地域農業のブランドینگ）  
市原市をの国のどうさんのうんちから堆肥作りを行い（話題性のある堆肥、土づくりと地域資材の循環を意識）、オンラインワゴンの農作物を栽培&販売を目指している。  
6、地域の新規参入者（特に農業関係）のバックアップ  
株式会社シエルバ（古敷倉）・・・農地整備、機械支援等  
株式会社スーパースターチャイヨー（外部田）・・・営農のアドバイス、人脈紹介等  
株式会社HAMIRU（高滝湖グランピングリゾート）・・・収穫体験用畑の立ち上げ、仕組み作り、機械支援 等  
7、加茂地区社会福祉協議会との連携  
加茂地区会長明賀さんとこれからの地域福祉のあり方について協議開始、星野農園がどう関わられるか、検討開始、2022年9月、  
8、高滝企業連携プロジェクトチームに参入  
主に高滝湖周辺の観光施設会社（官民間問わず）が集まり地域観光の活性化を図る。  
2021年10月、  
9、高滝タムの残土の農業利用  
土の専門家と再利用について検討開始、2022年9月、  
堆肥作りを利用し、農地に還元を目指す。

私が関わっていることは、パッと見ほとんど自分の売り上げには直結しないものが多数あります。しかし、地域を磨き続けることで新しい出会いやワクワクする未来が少し見えてきます。  
私は、今の若者たちにどんなにスマホが発達しようとも、仮想現実（メタバース）などという世界での遊びや、ビジネスを始めようとも、リアルの世界に向き合う事を避けてはいけないと伝えた。  
リアルのワクワク感を楽しいと思ってくれる人が増え、若者に伝播し、共に未来の加茂地区を描き、作っていく仲間が増えるように頑張っています。  
（星野農園 星野真人）

# 移住者への補助事業

最近、加茂地区をはじめとする南市原エリアでは移住や過剰滞在される方が増えてきました。首都圏にありながら、里山の豊かな自然が残され、人情に厚い住民がいて、伝統的な暮らしが残る、この地域の魅力が芸術祭やテレビの取材などを通して多くの方に伝わってきたからでしょうか。



市原市では、そんな移住者の方々に、各種補助金を用意しています。各事業の一覧は、こちらに紹介しています。

いちはら結婚新生活応援事業  
若者が安心して暮らせるまちへ向けて、結婚して新生活をスタートさせたいという若者を応援する事業です。若者が結婚を機に市内に定住するとき、新生活に必要な住居費や引っ越し費用の一部を補助します。

子育て世帯ファミリー定住応援事業  
子育て世帯が安心して暮らせるまちへ向けて、親世帯の近くで家族で支え合って暮らしたいという子育て世帯を応援する事業です。子育て世帯が親世帯の近くで住宅を取得するとき、その親世帯が市内定住の場合に住宅取得の一部を補助します。

空き家バンク制度  
不動産業者に仲介を依頼していない空き家を貸したい、あるいは売りたい所有者の方が、物件を市に登録し、市がホームページ上で物件情報を、移住や定住を希望している方や市内在住の方に提供します。市内の空き家の有効活用を図る制度です。

お問い合わせ先は、市原市役所 都市部 住宅政策課  
（大曾根R里山通信員）

# 開宅舎全戸通信 沢田さん一家

加茂地区最南端の戸町会にお子さんと一緒に移住した沢田さん。もともと農家さんとして活動していた沢田さんは、ここの生活にとてもうまく溶け込んでいて、お子さんの美希さんは地域の宝物のように大切にされている。

戸面での生活をしているのか  
おふたりにお話を伺った。  
開宅舎 小深山（以下Kと示す）…沢田さんが最初に開宅舎の事務所に来たのは去年の10月、ここでたね。その時の案内会でした。

K…千葉で移住と聞くといすみ市は有名ですね。S…他にも、茂原市とか君津市とか行きました。君津市の久留里の雰囲気とかもいいなと思って。でも、紹介できる古民家はなくて言わなかつたらその物件にしようって決めてたんです。F…古いお人形さんだけは怖かったから、ママに捨ててくれたらいいなと思ってた。S…はじめに開宅舎さんの事務所に行ったとき、この人たちは悪いようにはないだろうって思って。代表の

この物件について  
K…この物件は見てから実際に入居してもうまです。いちはら早かった物件なんです。S…そうなんですか？  
K…ちょうど片付けとか終わったタイミングで沢田さんが本格的に移住を考えているって連絡くれて、この物件を紹介したんです。沢田さんが鹿児島からこの日にもう引越し業者頼もうと思えますって来たのは衝撃でした。  
S…ふーちゃんが嫌って言わなかつたらその物件にしようって決めてたんです。F…古いお人形さんだけは怖かったから、ママに捨ててくれたらいいなと思ってた。S…はじめに開宅舎さんの事務所に行ったとき、この人たちは悪いようにはないだろうって思って。代表の



空家家の相談  
私たち開宅舎では、南市原市の空家家と移住者とのマッチングを行っております。私たちに空家家を託したい、または空家家の管理や相続に困っている、そんな方は相談ください。また事務所ではいつでも空家家の相談を受け付けています。お気軽にお越しください。

時間 10:00~17:00  
場所 開宅舎事務所（市原市朝生原819）  
連絡先 0501686219076

人と環境が一体となって大切な未来へ  
自然環境と人間との調和を目指して  
杉田建材株式会社  
本社 市原市万田野 26 TEL 0436(96)1311  
市原支店 市原市惣社1-1-22 TEL 0436(24)0511  
南総支店 市原市牛久450-1 TEL 0436(50)0111  
URL http://www.sugita-group.com/

安心・解体工事の クドウ商店 相談・見積り無料！  
空家家・倉庫・ブロック塀  
樹木伐採・残置物の撤去  
お気軽にお電話ください！  
TEL 0436-98-3903  
市原市五井中央東1-8-4 (株) 湘心興業 千葉県知事(登)1967号

